

いきいき

令和元年 12 月 13 日

正保だより

努力点特集号 3

名古屋市立正保小学校

今年度も「授業の主演は自分」進んで学習に取り組む正保っ子を目指して～「なるほど」「わかった」の音が響く数学的活動を通して～」というテーマで、学校努力点を進めています。今号では、9・10月に行った各学級の授業の様子をお知らせします。

6年1組 算数科「速さ」の様子（9月26日）

本時のめあて「速さの比べ方を考えよう」を示し、1秒間あたりの電卓のボタンを押した回数を考え、ボタンを押す速さを比較することができるようにしました。

今回の授業では数学的活動として、隣同士で8秒間と10秒間という異なる時間で電卓のボタンを押す早押しゲームをし、ボタンを押す速さの比べ方を考えました。その後、自分の考えを基に、グループで話し合いをしました。「ボタンを押す時間が違うから、1秒間でそろえればいい。」「1回あたりにかかった時間を考えてみたら比べられたよ。」など、単位量あたりを考えれば、速さを比較することができることを伝え合いました。また、自分で考えた速さの比較方法だけではなく、様々な考え方があることに気付くことができました。



【考えを話し合う様子】

【担任の麻生先生の感想】

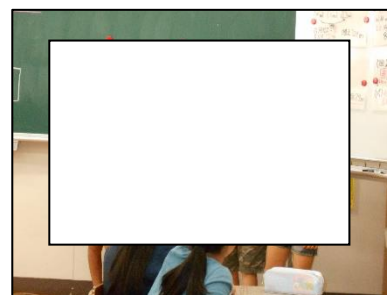
ゲーム的な要素を取り入れたこともあり、「隣の友達に勝った!」「計算をしたら、どっちが早く押せたか分かったよ。」など意欲的に活動に取り組むことができていました。話し合い活動では、自分の考えを積極的に伝えたり、友達の考えを熱心に聞いたりする姿が見られました。今後も、意欲的に学習に取り組めるような工夫をしていきたいと思えます。

3年2組 算数科「何倍でしょう」の様子（10月8日実施）

本時のめあて「黄色の車は何m走ったか考えよう」を示し、問題文から読み取ったことを関係図に表し、2通りの解き方で答えを求めることができるようにしました。

今回の授業では数学的活動として、関係図に分かっていることを書き入れ、一人一人が問題の解き方を考えるようにしました。また、考えたことを基に、グループで話し合う時間をとるようにしました。

青の車は赤の車の2倍、黄色の車は青の車の3倍走ったことを全体で確認してから問題に取り組みました。自分で取り組む時間には、問題文から読み取ったことを関係図に表し、どうすれば解けるのかと熱心に考える姿が見られました。話し合いの時間には、「まずは、青の車は何m走ったかを出せばいいよね。」「2倍の3倍って、6倍かな?」と考えたことを伝え合うことができました。



【グループの考えを発表する様子】

【担任の青山先生の感想】

難しい内容でしたが、意欲的に問題に取り組む様子に感心しました。グループで話し合う場面では、自分の考えを基に、子どもたち同士で教え合い、考え合う姿にとってもたくましさを感じました。今後も、子どもたち同士の対話的な学びの質を高めていきたいと思えます。

1年1組 算数科「何倍でしょう」の様子（10月25日実施）

始めに3枚の絵を見せ問題を把握させた後、本時のめあて「へってふえるとき、いくつになるかを考えよう。」を示し、数図ブロックで操作した後、立式して答えを求めることができるようにしました。

今回の授業では**数学的活動**として、数図ブロックの操作でブロックを動かした理由をプリントの話型に書き入れ、一人一人が問題の解き方を考えられるようにしました。また、考えたことを基にグループで立式し、計算の仕方を話し合う時間をとるようにしました。

授業の始めに今までのまとめとして、足し算、引き算になる場面を全体で確認してから問題に取り組みました。自分で取り組む時間には、3枚の絵から読み取ったことを数図ブロックに置き替えて操作して考えました。話し合いの時間には、2匹降りて減るから引き算、4匹乗って増えるから足し算という立式した理由を伝え合い、順番に計算すればよいことを話し合うことができました。

【担任の平井先生の感想】

数図ブロックを使って操作することで、自信をもって学習に取り組むことができたように思います。また、立式する時にも2匹減るから引き算になるなど理由を考えて立式し、その考えを基に友達と計算の仕方について話し合うことができたように思います。



【数図ブロックを操作する様子】

4年2組 算数科「面積」の様子（10月25日実施）

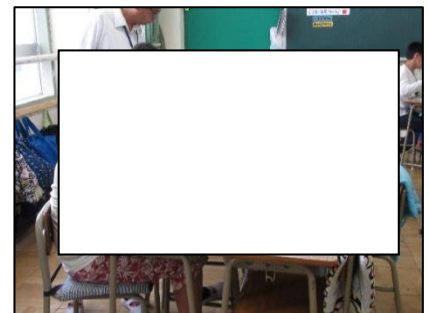
本時のめあて「くふうして面積の公式を使って求めよう」を示し、凹型の面積を様々な方法で求めることができるようにしました。

今回の授業では**数学的活動**として、凹型の図形に線をかき入れて長方形や正方形を作り、できた形ごとに色分けをしながら、一人一人が面積の求め方を考えるようにしました。

自分で取り組む時間には、凹型の分け方を次々に考える姿が見られました。話し合う時間には、「大きな長方形にしていないところを引けばいいよね。」「3つの長方形に分けて面積を足せばいいよね。」と考えたことを伝え合うことができました。

【担任の久米先生の感想】

子どもたちにとって、意見をもつことや、それを自分の言葉で表現することは難しいですが、日頃から、考えることや発表することを楽しみ、意欲的に学習に取り組めることを意識して指導しています。今回の授業では、面積の公式という既習の学習内容を駆使して、簡単に解くことができる方法を自分なりに考え、一生懸命伝えようとする姿が見られ、担任としてうれしく思いました。



【考えを話し合う様子】



「授業の主役は自分だ！」と子どもたちは、進んで学習に取り組んでいます！